

だれでも幸せになれる教えです!!

ひかり

2016年  
12月

136号

利他

席に  


利他行（りたぎょう）  
相手の幸せのために行動する

宗教法人 真生会

# 真生会の教えとは！

仏さまの智慧と

仏さまのものの見方を身に付け

自分の運命を変える

在家の法華経教団です。

宗旨宗派は問いません。

どなたでも安心してお越し下さい。

◇どの家庭も毎日が楽しく

ぬくもりと安心のある家庭になる

◇だれでも毎日がイキイキとし

ありのままに輝く自分になれる

---

## ◇幸福の五ヶ条

- 一、素直な心：（おかげさま）
- 二、誠の心：（まず人さま）
- 三、明るい心：（きつとよくなる）
- 四、尊ぶ心：（仏性を拝む）
- 五、信じる心：（人みな仏の子）

# 開祖さまのみ教え

開祖 田中偉仁  
たなか ひでひと

昔の笑い話です。

年頃の娘を持つカニの母親が心配しています。娘の歩く姿を見ると横ばいをしているのです。これでは嫁にもらい手がない。「あなた、気を付けて歩かないと駄目よ。横にばかり這<sup>は</sup>っているじゃないですか…」

娘が反発して答えました。「お母さん、これでも私は一生懸命まっすぐに歩いているのよ。そんなに毎日文句を言うのなら、一度お母さんが歩いて見本を見せてちょうだい」

母ガニが、「ではしっかり見ていなさい」と自信満々に歩いて見せました。娘のカニが大笑いして「お母さんだって偉そう



に言っているけれど、横に這っているじゃないの：」と言われ、親ガニが初めて我が姿に気が付いたのです。親の道を通る。子供は親の鏡なのです。子を持つ親として、心の底から我が子が安心しておられる親が何人いるでしょうか。

財も地位もあるご家庭にこんな事件が起きました。大切な一人っ子の学生さんが、突然家出をしてしまったのです。八方手を尽くして探されましたが、何の手がかりもなく一夜が過ぎ、お母さんがご相談に見えました。

「ご心配ですね。しかし、壁一枚向こうに居れば見つかるものではありません。物事にはすべて原因（種まき）があつて結果（報い）があるように、なぜこんな問題が起きたのか『なぜ』を究明することが先決ですよ。子供が家を飛び出すには、家庭か、親に魅力がなくなつた為に、寒風の吹く外の方がよくなつたのです。たとえば、商品か店に魅力があれば客は寄ります。我が子も同様、親に魅力があれば近寄ってきます。ガミガミよ

く怒る親、済んだことをゴテゴテいう親には魅力がありません。親の眼から見る子供に対する毎日の不足が累積して、今日の大不足の結果が生じたのです。

次にあなたは主人を亡くして見えますが、母子二人で何不自由なく生活できるのは、生前頑張って下さった主人の遺徳と親や先祖のお陰であると自覚されることが大切です。我が子のことは四六時中忘れませんが、主人の恩、親のありがたみをお忘れではなかったでしょうか。三度の食事忘れても忘れてならぬ親の恩です。親子の心のチャンネルは同じです。あなたの心が変われば、お子さんはきつと無事帰って来られます」とご指導致しました。数時間後、明るい声で電話があり「今、息子から電話があり、心配かけてごめんなさい。『今東京にいるのでこれから家に帰る』と連絡がありました。ありがとうございます」  
自分が変われば、相手が変わる、これが永遠の真理なのです。

(昭和54年11月真実に生きる)

一陽  
来復  
玉川本園

# ぶし眞教法話

会長 田中庸仁  
た なか つね ひと

## ◇最後の仕上げが大切

師走に入り、今年も残りわずかとなりました。

忙しい毎日の中で今年を振り返ってみましょう。悩みや心配ごと、不満や怒れることが心に溜たまっていませんか？「今年の汚れは今年のうち」というC Mもあるように、私たちも心のシミや汚れ、くよくよ、イライラ、むしゃくしゃという心のしわをきれいにして伸ばして新しい年を迎えたいものです。

開祖さまは「洗濯物でも最後の仕上げが大切です。しっかりとアイロンがけをすれば、しわも取れてパリツとします」と教えられました。師走の月、教会に足を運び仏さまの御心みこころという洗濯機の中で汚れを取り、師の指導添削を受け、心のアイロンがけをしてさわやかに新年を迎えましょう。

しかし、この世は苦の娑婆です。苦の無くなることはありません。苦に年末も正月もありません。世の中は諸行無常しよぎやうむじやう、良いことも悪いことも永遠には続

きません。「生、住、異、滅」と言つて、「何かが生じ、その状態がしばらく続いて、やがて状況が変わり、消滅していく」ということが真理です。世の中はとどまることなくどんどん変化していきます。思いもよらぬ変化、想定外のまさかの変化に一喜一憂するのが教えの浅い凡夫の姿です。

仏さまの眼から見ると変化に良いも悪いもありません。大自然、宇宙の新陳代謝、生理現象のようなものです。苦と思えるのは自分の勝手な価値観から見ているからです。

仏法僧に帰依することが仏教の基本です。簡単に言えば「拝んで、学んで、実行する」ということです。すべての出来事は自分の成長のための仏さまからのはからいごとなんだと拝んで受け止め、仏さまの智慧である法で理解し、法の如く実行すれば、苦が苦で無くなるのです。苦を苦と受け止めなくなるのが法華経の教えなのです。

釈尊は入滅される時「依法不依人」法に頼って人に頼るなと教えられました。法が尊いのです。南無妙法蓮華経とは「妙法という法に帰依します」という教えなのです。「無量の功德この経に集まれり」とあります。法が仏そのもので

あり、法の中に仏さまがお見えになり、すべての人が法という真理の中で生かされているのです。法が解り、仏さまの智慧で世の中を見れるようになれば、苦が苦でなくなり、感謝と希望の毎日となります。

### ◇心の切り替えて逆子が治った

熱心に信仰される妊婦さんの相談です。

「待望の子供に恵まれ、妊娠八カ月となりました。お陰様ですべて順調に育つて来ましたが、先日の検診で逆子になっているといわれ、このままでいくと帝王切開で出産になりますと言われ、ちよつとショックでした。何とか自然分娩で生みたいのですが、心構えを教えて下さい」とのお尋ねでした。

「お腹の赤ちゃんは母親と一心同体ですから、母親が誰に対しても頭を低くし、素直で謙虚な姿勢でいれば、赤ちゃんも頭を低く下げて、自然分娩で生まれてきますよ。一日に何度でも妙法を唱えてお腹をさすりながら、『お母さんも素直で謙虚な心になって頭を低くして生活するから、あなたも頭を下げて無事生まれて来てね!』と赤ちゃんに言い聞かせるといいですよ」

「先生、わかりました。知らず知らずのうちに姑しゅうとめさんのいろいろな言動を不



足に思ったり、優しい夫に対しても当たり前になり感謝の心が少なくなっていました。私の心得違いを赤ちゃんが教えてくれたのだと気づきました。シツカリ懺悔<sup>さんげ</sup>して頑張<sup>がんげ</sup>ってみます」と明るい顔になって帰られました。

十日ほどして教会にお参りに来られ、「先生、ありがとうございます。あれから心を切り替えて、毎日お腹を拝みながら、赤ちゃんに話しかけていました。そうしたら不思議なことに赤ちゃんが正常な位置に戻り、お医者さんも『この分なら帝王切開せずに出産できますよ』と言ってもらえました」と嬉しい報告でした。「心ひとつの置き所、楽も苦となり、苦も楽となる」のが仏さまの教えです。誰でもまず自分の都合や自分の立場を先に考えがちですが、幸せになる秘訣は、凡夫の考え方の反対側にあるのです。

常に相手の立場を先に考え、自分のことは後回しにするとちよつと損のように思いますが反対です。洗面器の水と同じで、自分の方に水をかき寄せれば、手元から両側に抜けていき、向こう側に水を押し出せば、横から二倍になって戻ってきます。簡単なことですがこれが真理です。この年末を相手のお幸せを優先する「利他行」で総仕上げしましょう。きっと福が舞い込んできます。

# 今月の運勢（1月）

（2017年1月5日～2月3日）

## 一 白水星

充実した月になりま  
す。スピード感をもつ  
て事に当たりましょ  
う。目上の人の引き立  
てを頂き結果が出せる  
月です。施しや奉仕の  
徳を積みめさらに運氣  
が増すでしょう。

## 二 黒土星

楽しい出会いの多い月  
になります。家族や友  
人と触れ合う機会を多  
く持ちましょう。但し  
暴飲暴食に注意して下  
さい。何かちよつと足  
りないことがあつても  
おおらかに見ることに  
三 碧木星

変化の多い月になりま  
す。去年までの流れが

変わるかもしれません  
が、うまく流れに乗つ  
て柔軟に変化するとよ  
い。仕事や伝達事項の  
引継ぎをシツカリする  
ように心掛けること。

## 四 緑木星

気分も明るく脚光を浴  
びる月。周囲の様子が  
よく見えるのでアイデ  
アを生かして行動でき  
る。注目されているの  
で軽率妄動、軽口は慎  
むこと。何事も怒りは  
禁物。明るくおおらか  
に切り抜けよう。

## 五 黄土星

何かとうまくいかない  
月です。そんな時はジ  
タバタせずゆっくり身  
も心も休ませ、目立つ

動きは控えて陰役に徹  
しましょう。今月蒔い  
た新しい種がいずれ芽  
生えます。風が吹くま  
でひと休み。

## 六 白金星

焦らず地道にコツコツ  
実践する月。飛躍する  
事より地盤づくりを心  
がけよう。一人で頑張  
らずに大勢の人と協力  
しながら進むこと。勝  
負に出ると当てが外れ  
る心配がある。堅実  
路線で進むこと。

## 七 赤金星

やつと夜が明けて日が  
昇り始める月。勇気が  
湧き、活力が湧き始め  
る。目的に向かつて  
ゆっくり歩み始めよ

う。突っ走るにはまだ  
早い。明るく元気な声  
を発して行こう。

## 八 白土星

絶好調の月。自分に風  
が吹き始める。勢いに  
乗って大いに活動でき  
る。行動範囲を広げ多  
くの人に出会おう。発  
展の時なので優柔不断  
はいけない。何事も自  
信を持って決定する。

## 九 紫火星

エネルギー充填の月。  
大きな動きは控え、来  
月の完成充実に向けて  
力を蓄え、プランを  
しっかりと考えておくこ  
と。周囲をよく見渡し、  
状況を把握する。もめ  
事には関わらない。

## 「まごころ誌代」御礼

滝山恵依子	永田愛	河合健司	田中教之	松本真由美
三村千佳	大西弘子	河合麻美	鈴木悠真	京川春男
小俣知香	辻みわこ	横井志奈子	鈴木章紘	鈴木伸之
某女	林田早紀子	田中庸仁	田中彩起子	澤君美
坪井佑介	細谷早予子	田中佑季子	田中久美子	澤芳子
坪井祥子	大西生子	田中啓予	田中成美	岸本好正
出田梓	宮内秀子	田中宏明	鈴木秀雄	岸本真廣
八色啓泰	某女	亀井善広	君島加奈子	東森繁一
今園雄太	今園佳津予	亀井由実子	大川恭代	土川順寛
今園佳津予	宮島りえ	高橋身衣	鈴木彩夏	土川恭代
今園達也	笹原正子	豊田直正	鈴木信行	土川康二
林田嘉聖	堀田純子	足立和美	芦野八重子	土川廣美
奥田佳代	亀井善二	小島尉須子	高橋成予	半澤照子
片桐淳子	早野博彦	堀部祐美衣	君島加奈子	安田初子
堀田純子	横山都久子	早野雅大	山館杏衣	伊東 晃
浅井佑季子	後藤清美	多田佳央	山館悠華	佐藤百々枝
村上規佑記	水田祐記子	坂口郁夫	山館優実	佐藤光洋
田中啓予	國井奈加子	真木駿人	杉山佳美	山本季美衣
小林佑実子	宮田雄貴	真木杏里紗	家安久子	原身予子

★皆様の『まごころ次第』献金のご協力によって継続発刊しています。  
紙面をもつて感謝申し上げます。(敬称略・順不同)

### 《入会のご案内》

真生会は、個人の心の勉強と実践を目的とする個人会員制です。各家の宗旨宗派はご自由です。詳しくは総本山真生寺、各教会にお尋ね下さい。

☆会員種別と会費

・普通会員 500円/月 ・特別会員 1000円/月

発行所 宗教法人 真生会 総本山真生寺  
〒501-1105 岐阜市彦坂178番地  
TEL 058(235)7304

発行人 会長 田中庸仁

振込先 ・三菱東京UFJ銀行 岐阜支店

普通口座 3715509

名義 宗教法人真生会 代表役員 田中法隆

## しあわせ眼鏡

もろもろの現象は移ろいゆく。忘らず、努めるがよい  
(積尊最後の説法)

人生、死ぬまで勉強。もう分かったと思っただ時から分かんなくなる。学歴より学力が大切 (真生会開祖さま)

ディズニールランドはいつまでも未完成である。現状維持では、後退するばかりである (ウォルト・ディズニール)

お気軽にご連絡ご相談下さい

- |                     |  |
|---------------------|--|
| 【総本山真生寺】 〒 501-1105 | 岐阜市彦坂 178 番地<br>TEL 058 - 235 - 7304       |
| 【所沢教会】 〒 359-0037   | 所沢市くすのき台 1-9-5<br>TEL 04 - 2992 - 8236     |
| 【名古屋教会】 〒 454-0808  | 名古屋市中区九重町 3-10<br>TEL 052 - 351 - 3904     |
| 【岐阜教会】 〒 500-8882   | 岐阜市西野町 3-19<br>TEL 058 - 262 - 9615        |
| 【大阪教会】 〒 532-0028   | 大阪市淀川区十三元今里 3-4-10<br>TEL 06 - 6308 - 5637 |

上記の教会にお申込み下さい。必要な冊数を毎月お送りします。詳しくはお尋ねください。